

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	小山市家庭教育支援チーム (呼称: かざぐるま )
活動開始年度	平成21年度
活動拠点	小山市教育委員会 生涯学習課 生涯学習係
活動範囲	小山市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )
組織体制	<u>7</u> 人
具体的な活動内容	<p>栃木県教育委員会による、親学習プログラム指導者研修修了者で「家庭教育支援チーム」を結成し、家庭教育に関する学習機会・学習情報の提供、保護者間の情報交換の場の提供、家庭教育に関する相談への対応を実施する。</p> <p>① 学習機会の提供</p> <p>栃木県が開発した「親学習プログラム」を実施。県が養成した<sup>*</sup>親学習プログラム修了者がファシリテーターを務める。</p> <p>★ 就学時健康診断時における親学習プログラムの実施</p> <p>家庭教育支援事業重点対象校を中心に、おもに、就学時健康診断時に親学習プログラムを実施する。参加希望者を募るのではなく、多くの親が集う機会を捉えて実施することで、日頃、家庭教育に関する研修や講習会に参加することが難しい方々にも参加いただく。</p> <p>★ 出前講座による親学習プログラムの実施</p> <p>おやま・まちづくり出前講座による依頼に応じて、参加者が希望する日時、場所、テーマで親学習プログラムを実施する。</p> <p>② 家庭教育に関する情報の提供</p> <p>★ かざぐるま通信の発行</p> <p>家庭教育に関する情報紙「かざぐるま通信」を定期的に発行する。事業重点対象地区小学校へは保護者全員へ配布し、その他の小学校へは数部ずつ配布し、家庭教育支援に関する情報提供と共に周知をはかる。</p>

活動を通して感じて  
いること  
(成果、課題など)

小山市内の全ての小学校において、親学習プログラムの実施を経験してもらうことができた。広く平等な学習機会の提供ができています。また、市内小学校の理解も得られてきた。

その一方で、プログラム実施の実績としては、就学児健診での実施に集中するため、未就学児、思春期などの子どもを育てる保護者にプログラムを提供できていない。

今後の課題として、様々な年齢の子どもを育てる保護者に、広くプログラムを提供できる普及策を練る必要がある。

また、家庭教育支援チームへの新たな人材の確保や、ファシリテーションの技術・能力の向上、活動への意欲向上を目指すなど、フォローアップの充実が課題である。